



2012-13・RIテーマ



# 守口ロータリークラブ 週報 No.14



米山月間  
職業奉仕月間

本日のピアノ演奏

笑顔でお迎えます



1. 大空と大地の中で 2. 北の国から 3. さとうきび畑

<b>本日例会</b> 2012年10月17日 (第2507回)	<b>次回例会</b> 2012年10月24日 (第2508回)
「倫理についてのフォーラム」 三浦 均会員 担当：職業奉仕委員会	「日中対立による経済的影響」 岩代 岳明会員 担当：出席・プログラム委員会

## 出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
10月10日	31	12	77.50%【会員42名】【内免除者2名】
09月26日	32		メイクアップ5名 (82.05%)

## 前回例会 (2506回) 10/10の主な内容

### ◎ビジター紹介

山本 覺様

(守口リビングRC)

### 地区大会のご案内

小林 俊明様 (大阪中之島RC)

下岡陽一郎様 (大阪中之島RC)



高島ガバナーのテーマ“健全な心と体の育成”を副題としまして“地球の平和の為に”のテーマでいろいろなプログラムで検討しました。

2012年12月7日(金) 13:00開会

分科会(10F) 15:00開会

本会議=2012年12月8日(土) 13:00開会

場所=国際会議場(グランキューブ大阪)

### ◎幹事報告 幹事 神田 隆司

- 1、地区大会出欠表を事務局までお願いします。
- 2、ロータリークラブ会員証をメールBOXに入れてあります。

- 3、10月度理事会に於きまして次々年度会長及び次年度理事役員選考の為の選考委員が決定しましたのでご報告いたします。

○バスト会長より

- ・三浦俊造会員、石井賢治会員
- 佐治信隆会員、宮内勝夫会員
- 橋本泰明会員、

○現理事より

- ・石橋高夫会員、中道均会員

理事会により【前年度までは、現会長は、選考委員会に出席しましたが、今年度より、出席しないと、決まりました。】

- 4、会計監査委員

- ・菊田会長エレクト、森本前年度会計



■ 会 長：篠崎 満 伸  
 ■ 幹 事：神田 隆 司  
 ■ 広報雑誌・会報委員長：他谷 勝  
 URL : <http://www.moriguchi-rc.jp/>

■ 例 会 場：ホテル・アゴーラ大阪守口 守口市河原町10-5  
 TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038  
 ■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口5F 〒570-0038  
 TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009  
 ■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp  
 ■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間 (会長 篠崎 満伸)



厳しかった暑さもおさまり、めっきり秋めいてまいりました。これからしばらくは、一年を通じて、最も過ごしやすい季節。行楽に、スポーツに、何をするにも絶好のシーズン。

皆様方には、旅行や紅葉狩りにと、ご家族おそろいで、お出かけのことと存じます。思いっきり深まりゆく秋の景色を堪能いただきたいと存じます。(～右段に続く～)

そこで今日は、当クラブの秋の行事予定を見てみたいと思います。この13日には枚方カントリークラブで三クラブ合同ゴルフコンペを開催。心地良い風を頬に感じながら、好きなゴルフを通じて、相互の親睦を一層深めることにしています。

又、11月4日は、守口市民まつりが開催。当クラブは今年もRACと共に参加。

新年のカレンダー1,500部を配布し、認知度の向上に努めます。これが好評で市民まつりの中でロータリーのカレンダーとして定着しつつありますことは、誠に喜ばしい限りでありますことは、誠に喜ばしい限りであります。

さらに11月17日には、秋の日帰りバス旅行として、三重県長島の“なばなの里”へ。ライトアップと同時にイルミネーションで飾られた色鮮やかな花々が最高の輝きで、我々を迎えてくれることと、今から大変楽しみです。(完)

卓 話 「ものの見方 受けとめ方」

佐治 信隆会員



私たちはこの世に生を受けて、日常生活ではいろいろな対人関係の煩わしさに悩まされます。人間は他に干渉されずに生きていければ、いろいろな苦勞をしなくて済む。

でも、人は一人で生きていけない。自分を支える者がなければ生きていけないのでありましょう。私は誰にも支えてもらってないという人がいたら、それはあなたが、ただ気がついていないおごりであると思います。

以前にコマーシャルで主婦が保険会社に電話をして、「子供たちに迷惑かけたくないんです。」というのがありました。つまりそれぐらいの金額だったら自分にも掛けられる、ということを表現したかったのでしょうか。でも、どうでしょうか。子供に迷惑をかけたくないといったって、やがては自分が死んだら、自分のことは出来ないでしょう。その時には子供が後のことをやってくれるでしょう。だから死んだ先のことは考えなくていいでしょう。

(～次ページに続く～)



ニコニコBOX S・A・A

大阪中之島RC 地区大会に一人でも多くの会員に参加して頂きますように。  
 篠崎 会員 中之島RCの下岡陽一郎様、小林俊明様、地区大会ご準備大変ご苦勞様です。  
 佐治 会員 卓話させて頂きます。  
 宮内 会員 例会欠席のお詫び。

10/10 誕生・ニコニコBOX 396,000円

## 卓 話

(～前ページからの続き～)

反対に子供は自分の覚えていないときに、親に育てられ、手取り足取りで成人したのです。

気持ちとしてはわからないことではないが、子供には何もしてもらってないというのは違います。だから、「これからも宜しくね」と言えればいいんじゃないでしょうか。

何年も前のテレビコマーシャルです。幼稚園ぐらゐのタイトスタイルの4、5人位の女の子が足を交差して「よく考えよ」というのを覚えていらっしやるのでしょうか。私はこのコマーシャルが大好きで、何と言ひ得て妙だなと感心して見ていました。

戦後経済第一で日本はやってきました。しかし、一方で智的感能力、つまり他の者の悲しみや苦しみを思いやる心が欠如してきたのではなからうかと思ひます。

本当に見なければならぬことを見過ごし、本になさねばならぬことを見落としてゐる、と思ひます。

民主主義と言われてから久しいですが、その実個人主義の闊歩です。自分達だけが旨いものを食べて、楽しいことをすれば良い。他の人のことは二の次三の次ぎ。今、自分さえ良ければ良いではないでしょうか。

私の職業分野でいえば、散骨はいけませんと申しています。大阪湾のある港から散骨をしたいお客さんを船にのせて沖合8キロぐらゐの所で船長が「さあどうぞ」といったら自分達持ってきたお骨を一斉に海に撒くそうです。乗船させるのに一人5万円に10組で沖にでるそうです。大阪湾の深いところにはヒラメやスズキのようなおいしい魚もいるそうです。そんな事が噂になって、あそこの漁協の魚は散骨したお骨を食べている魚だとわかったら、あなただったらその魚を食べますか。

山紫水明の国、日本の美しい環境を子孫に残そうと言われてるでしょう。自分の勝手な思ひ出で自然を汚すことは許されません。

私の近所に春になったら桜が満開になる大きな公園があります。シーズンになったら、大勢の人がお弁当を持って宴会を楽しんで居られる光景は何ともほほえましいものです。ところが私のところの檀家さんが、「うちのお父さんも元気な頃はよくお弁当を持って行ってました。去年亡くなって初めての花見シーズンになったから、好き

やった公園にお骨をチョット撒いてきましてん」これはダメでしょ。足下にお骨がまいてあるところで宴会をしますか。「貴方が良くて、私が困る」と言う言葉があります。

この頃グルメブームとかでどこかの局で必ずといっていいほど食べることに關する番組をやっていますね。若鶏のソティとか、子牛のソティとか言つて、柔らかくておいしいということらしいです。つまり、人間にとっていかにおいしく食べられるかです。私の子供の頃のように空腹をみたすために食べるというのはだいぶ違います。

若鶏のソティとは生まれて三週間しかたっていない鶏の命をたつんです。

子牛のソティとは生まれて三か月しか経っていない子牛の命を絶つんだそうです。

食べるなど言てるのではありません。自分が生きる為には他の命を貰わなくては、人間は生きていけないんですね。多くの生き物の命をいただいて人間は生きているのです。

30年近く前のお話ですが、誰でも知っているある著名な作家が私を含めて何人かとお酒を飲んでいた時に、「この世にある動物や植物は全て人間が食べる為にあるんですよ、その権利を人間はもっているんだ」と言われたのにはビックリしました。いくら著名な作家といえども、そうですねとは言えません。だいぶ前に読んだんですが、姉小路某というロシア文学者のお話です。東大でロシア文学の翻訳の仕事をして、山間に住み晴耕雨読の生活しておられました。あるグラビア雑誌のインタビューで肉とか魚も欲しくないのですかという記者の質問に「私のような老人の為に、牛が命を落とすことはないですよ」と言われていた。この何気ない言葉に込められた深い思いに教えられました。自分が食することに動物のいのちのことで思つておられる。

幼稚園や小学校の給食の時間に、先生が手を合せて「それではいただきます」と生徒さんに言つたら、生徒のお母さんが「特定の宗教を押し付けつけないでください」と言つて怒鳴り込んで来るらしい。

それは宗教ですか、と申し上げるんです。日本には昔から古き良き伝統、習慣というものがある、仏教徒であっても神社の前を通りかかったら手を合わせる。氏子でなくても、正月には明治神宮に何百万人という人がお参りに行くんです。

最後に阿保と賢の違いは何か問われたら、私は思ひます。俺ほどできる者はおらんと思つて生きてる人が阿保。なんちゅう俺は阿保やと自覚するひとが賢でしょ。(完)